

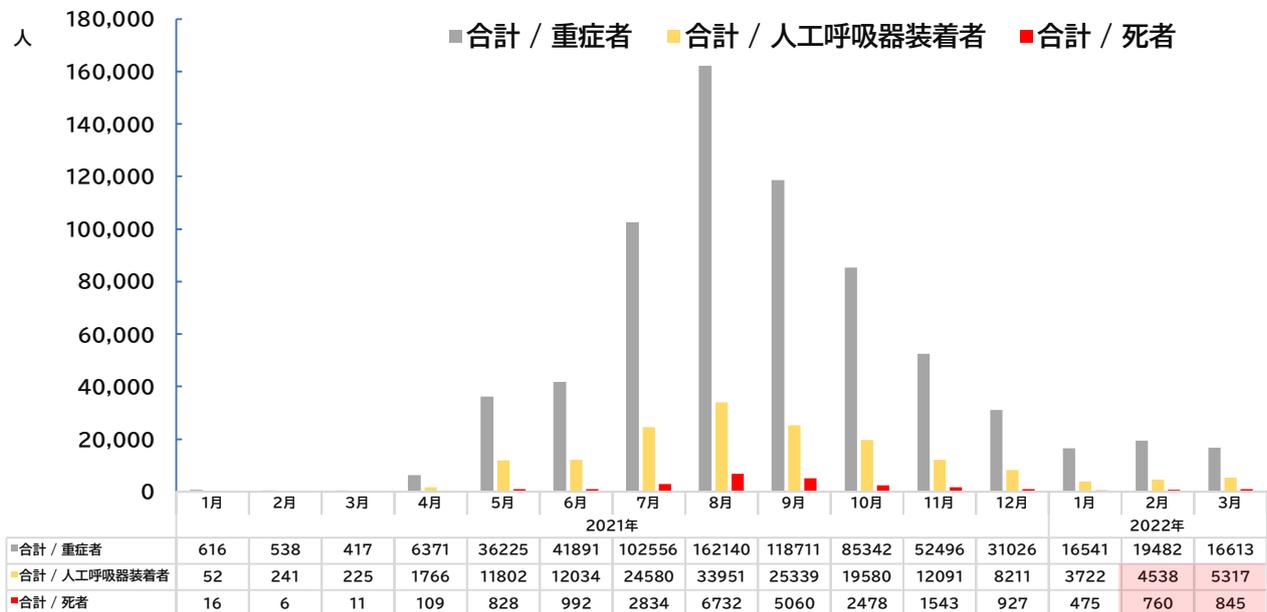
## タイにおける現地情報(最終回)

2022年3月14日  
 HS-TECH ENGINEERING  
 橋本真也  
 Sunisa Thammaprot

### 【コロナ第四波の襲来(その8)—コロナ終息、流行性感冒宣言(7月)へ】

#### 1) コロナ3指標(重症者、人工呼吸器装着者、死者)の推移(タイ全土)

図・表 1に2021年1月1日～2022年3月14日までの「コロナ3指標」の推移を示した。3月半ばで既に人工呼吸器装着者および死者は前月を上回った。



図・表 1 コロナ3指標の推移(2021年1月から2022年3月14日)

出所: 公衆衛生省のデータから作成

#### 2) コロナが主要な死因は症例の70～90%

公衆衛生省はコロナ関連死亡者の主要な死因の見直しに着手した。それによると、10～30%はコロナ以外が主要な死因だ。コロナの症状(肺炎など)が無いのに死後、新型コロナウイルスが検出されたことにより、コロナ関連死と判定された事例も散見される。今後は、肺炎の症状が見られない場合は、コロナ関連死から除外することになる<sup>1</sup>。そして政府は7月1日(金)<sup>2</sup>、「コロナ・パンデミックは終息し、流行性感冒(エンデミック)へ移行した。」との宣言を発出するためのガイドライン<sup>3</sup>を作成中だ。

<sup>1</sup> ただし、死者の約半数はワクチン非接種者であることから、政府はワクチン接種を強く推奨している。

<sup>2</sup> タイ入国に必要な手続(Thailand Pass)も7月から廃止される可能性がある。

<sup>3</sup> 例)エンデミックの基準:1,000人あたりの死者数数が0.1人以下になること。直近の3月上旬では0.2人で未達成。

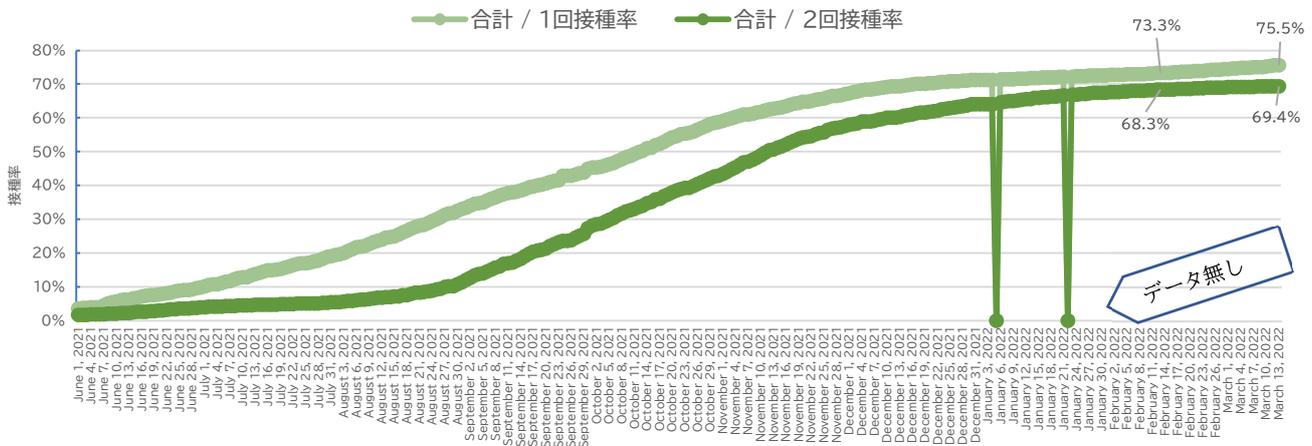
### 3) PCR 検査陽性者数

PCR 検査陽性者数がじりじりと増加している。最近では日間で 2.5 万人<sup>4</sup>に達している。もっとも症状の軽いオミクロン株が全体の 70% のようだ。政府はこの増加傾向は 5 月末でおさまり、6 月以降は日間で 1,000 人～2,000 人に減少すると予想している。

### 4) ワクチン接種状況

#### ●タイ全土

図・表 2 にタイ全土におけるワクチン接種率(1、2 回接種)の推移(2021 年 6 月 1 日～2022 年 3 月 13 日)を示した。2 月 13 日から 3 月 13 日にかけて 1 回接種率が 2.2% 増加、2 回接種率が 1.1% の増加に止まった。なお、3 回目の接種を終えた者は 3 月 13 日時点で 31.3% だった。



図・表 2 タイ全土におけるワクチン接種率(2 回接種まで)

出所: 公衆衛生省のデータから作成

#### ●バンコク都および主要県

図・表 3 にバンコク都および主要県のワクチン接種率(1、2 回接種)を示した。各地とも伸び悩んでいる。多くの日系企業が集積する Samut Songkhram(サムットソングクラム)県が 60% にも達していない。

図・表 3 バンコク都および主要県のワクチン接種率

| 都・県             | ワクチン1回接種率 (%) |           |            |            |          |           |           | ワクチン2回接種率 (%) |           |            |            |          |           |           |
|-----------------|---------------|-----------|------------|------------|----------|-----------|-----------|---------------|-----------|------------|------------|----------|-----------|-----------|
|                 | 9/12/2021     | 10/7/2021 | 11/10/2021 | 12/10/2021 | 1/3/2022 | 2/13/2022 | 2/27/2022 | 9/12/2021     | 10/7/2021 | 11/10/2021 | 12/10/2021 | 1/3/2022 | 2/13/2022 | 2/27/2022 |
| Bangkok         | 95.2          | 101.5     | 111.3      | 119        | 120.4    | 112.4     | 113.6     | 36.1          | 56.9      | 91.6       | 105.3      | 110.6    | 104.1     | 104.9     |
| Chonburi        | 53.7          | 69.6      | 85.1       | 91.5       | 93.4     | 82.3      | 83.3      | 22            | 46.8      | 73.3       | 83.8       | 87.8     | 78.6      | 79.3      |
| Samut Prakan    | 57.1          | 67.7      | 77.1       | 81.9       | 83.5     | 91.2      | 92.1      | 21.6          | 44.5      | 61.9       | 69.4       | 72       | 80.1      | 81        |
| Pathum Thani    | 57.8          | 65.8      | 78.2       | 82.6       | 84.1     | 87.3      | 87.7      | 20.4          | 46.5      | 63.9       | 75.6       | 78.4     | 82.3      | 82.7      |
| Chachoengsao    | 59.1          | 69.7      | 79.4       | 85.2       | 87.2     | 81        | 82.2      | 22.1          | 38.6      | 59.8       | 68.9       | 73       | 69.1      | 69.8      |
| Samut sakhon    | 52.4          | 65.1      | 82.9       | 91.2       | 94.5     | 78.6      | 79.5      | 26.3          | 43.9      | 66.9       | 80.4       | 84.7     | 72        | 72.8      |
| Ayutthaya       | 46.8          | 54.4      | 62.5       | 66.5       | 68.5     | 73.3      | 74.6      | 14.3          | 40.6      | 54.3       | 62.4       | 64.6     | 70.9      | 71.6      |
| Rayong          | 35.8          | 49.4      | 66.1       | 75.2       | 82.3     | 83.7      | 84.9      | 18.9          | 32.9      | 52.3       | 67.3       | 75.9     | 79.8      | 80.8      |
| Chiang mai      | 29.1          | 42.5      | 72.6       | 87         | 89.7     | 75.5      | 76.2      | 17.1          | 29.4      | 51.1       | 73.4       | 83.4     | 73.5      | 74        |
| Samut Songkhram | 24.3          | 34.6      | 45.8       | 51.5       | 55.5     | 63.5      | 64.9      | 14.9          | 25.1      | 39.2       | 46.6       | 49.5     | 58.4      | 59.9      |

出所: 公衆衛生省のデータから作成。

注) 2 月以降、接種率の数値は、当初設定していた対象人口が修正されたため、それ以前と比べて変動した。

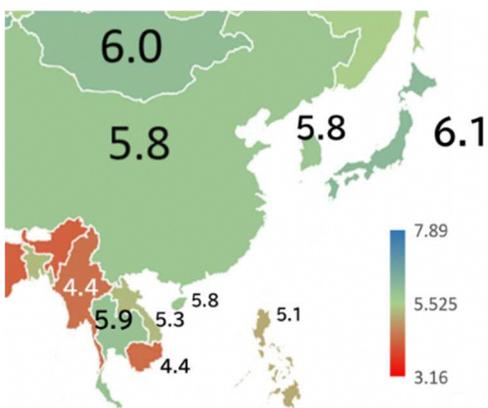
<sup>4</sup> 政府が PCR 検査陽性者数を 3 月では日間で 30,000 人と予測していたことは 2 月号で紹介した。

## 微笑みの国の一側面

「**微笑みの国**(The Land of Smiles)」として知られるタイ。政情は表向き安定している。通勤時、いつもの物乞いさん達(たいてい、四肢の一部が欠損している。)に加えて浮浪者が増えてきたバンコクだが、治安は悪くない。電車内で日中、財布を広げて紙幣の入れ替えをする人達を何回も見た。料理も旨い。各種経済指標も改善しつつある。以下、日本の事例も踏まえながら、幸福度調査および自殺者数から**微笑みの国**の一側面を紹介する。

### ❖ 世界幸福度調査ランキング:タイはXX位、日本は先進国中で最下位レベルなの!?

2020年・世界幸福度調査(国連調査<sup>5</sup>)によればタイは総合評価が5.9ポイントでランキング54位。隣国と比べれば評価がやや高い(図・表4)。この国連調査は①国民一人当たりGDP(購買力平価ベース)、②健康寿命、③社会支援、④自由(職業選択、行動)、⑤信頼(腐敗・汚職)、⑥寛大さの6項目が柱になっている。



図・表 4 タイ周辺国の幸福度

出所:世界幸福度報告書(2020年)から作成

一方、日本は58位(2019年)、62位(2020年)、56位(2021年)だ。加谷<sup>6</sup>は「このランキングで日本はズルズルと順位を下げている。」「このランキングは(中略)基本的には、各国の国民に対して現在の生活に満足しているのかを尋ね、その結果を数値化したものと考えて差し支えない。」「日本は人生における選択肢の幅が狭く、あてがわれたレールに乗らないと、厳しい人生を余儀なくされる。」と悲観的だ。

ところが、坂場<sup>7</sup>は「上記6項目だけに限れば、日本のランキングは間違いなく世界のトップ10に入る評価を得られている(2018年国連調査報告書の20-22ページ<sup>8</sup>)」と評価している。国連調査で問題なのは、これら6項目に加えてギャラップ社による「**ディストピア(地獄郷)**」というアンケート調査の結果が加味されており、しかも、全体(総合)評価の中で**地獄郷項目**が占めるウェイトが高い。**地獄郷項目**は**プラス要因**(あなたは今幸せですか。昨日、笑うことはありましたか?等)および**マイナス要因**(昨日一日で懸念(悲しみ、怒り)の感情を持つことはありましたか?等)に関する聞き取りだ。

こんな**地獄郷調査**をしたら国民性が如実に反映されるのではないか。我が国が総合評価で60位前後に転落したのはそのためか。暗澹たる情報(名目賃金低迷、老後資金枯渇、失われた30年、国家財政破綻、----、阿蘇山や富士山の破局的噴火、巨大地震)に溢れかえる日本では、おいそれと楽天的にはなれまい。さらには図・表9で後述するが、人口10万人あたりの自殺者(国別、男女別:2019年)が突出しており、熾烈な競争社会とされる韓国が総合評価で54位(2019年)、61位(2020年)、62位(2021年)<sup>9</sup>と日本とあまり変わらないことにも違和感を覚える。

<sup>5</sup> 国連の持続可能な開発ソリューションネットワーク(SDSN)が米国ギャラップ社の収集データ(World Poll)を基に**英米の研究者チームの協力**を得てまとめた報告書。総合評価は0~10点までの11段階。ギャラップ社は200万人分のデータを収集したようだが、筆者らはその調査方法の詳細(カラクリ)を把握できない。

<sup>6</sup> プレジデントウーマン、<https://president.jp/articles/woman-print/55276?page=3>

<sup>7</sup> 国連が見た「不幸な日本人」<http://www.jfss.gr.jp/article/638>、坂場は元ベトナム・ベルギー特命全権大使

<sup>8</sup> [https://s3.amazonaws.com/happiness-report/2018/WHR\\_web.pdf](https://s3.amazonaws.com/happiness-report/2018/WHR_web.pdf)

<sup>9</sup> <https://countryeconomy.com/demography/world-happiness-index/south-korea>

❖ タイ人幸福度調査(タイ学術研究会議の調査)

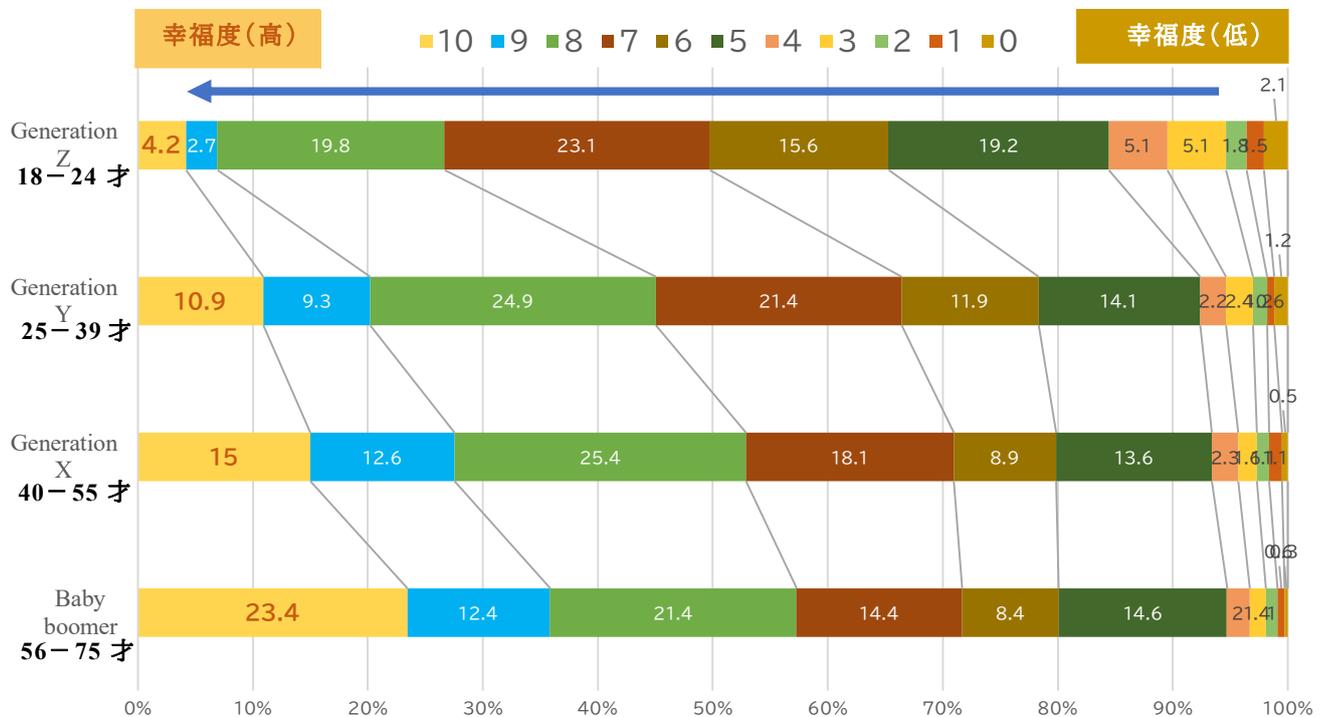
図・表 5 にタイ学術研究会議(National Research Council of Thailand)が 2022 年 1 月に刊行した、タイ人・四世代の幸福度調査(タイ人幸福度調査<sup>10</sup>)の総合評価結果を示した。幸福度評価項目は、前述した国連調査に準拠している。なお、各世代の年齢層は図・表 5 中に数字で示した。

**Baby boomer 世代**で「今の暮らしに満足しており幸福を感じている」として 10 点満点をつけた割合が 23.4%と驚異的な数字を示した。8 点以上でも過半数を超える 57.2%となった。一方 **Generation Z 世代**で 10 点満点をつけた割合はわずか 4.2%に止まり、8 点以上でも 26.7%と Baby Boomer 世代の半分以下(46.7%)の幸福度だ。

ところが、幸福度が 6 点以上では全世代において 60%以上となり、(今の暮らしにそれなりに満足で)幸福感を感じている姿が浮き彫りになった。それなのに、このタイ人幸福度調査結果からは、タイが国連から手厳しい評価を受けたことがどうしても腑に落ちない。ただし図・表 6、図・表 7 に示したとおり、女性の回答者数が全世代とも 60%を超え、男女構成比に大きな偏りが見られる。これがタイ人幸福度調査結果にプラスに作用したことは、後述する自殺者数の男女間比率(図・表 9)からも類推できそうだ。



かくしゃくたる立ち振る舞い(バンコク)



図・表 5 タイ人・四世代の幸福度調査結果:2021 年

出所: KhonTHAI 4.0, タイ学術研究会議のデータから作成

<sup>10</sup> [https://khonthai4-0.net/content\\_detail.php?id=269](https://khonthai4-0.net/content_detail.php?id=269)

### ● 調査回答者(タイ人・世代ごと)の特色

タイ人幸福度調査は四世代を大雑把に把握する上で興味深い。例えば、タイの所定労働時間は原則として 8 時間/日、48 時間/週以内と定められているところ、Generation Y では 35.5%、Generation X では 41.8% が 48 時間/週を超える労働を行っている。しかも副業を持ち 48 時間/週を超える労働を行っている者が Generation X で 21.1% と、四世代で最も高い比率であった。また、Generation Y で独身者が 60% 近くで、タイでも晩婚化、非婚化が進行しているようだ。以下、世代ごとの特色は、図・表 6、図・表 7 を参照されたい。

図・表 6 調査回答者(タイ人・世代ごと)の特色—1

| 世代名          | 年齢層   | 主な特色    | タイ人・各世代の概要  |
|--------------|-------|---------|---|
| Generation Z | 18-24 | 性別      | 女性(69.5%)、男性(26.3%)、性的マイノリティー(4.2%)                 |
|              |       | 学歴      | 修士修了者(1.5%)、学部卒者(51.8%)                             |
|              |       | 婚姻の状況   | 既婚者(1.8%)、独身(97.9%)、未亡人・離婚・別居者(0.3%)                |
|              |       | 職業・雇用形態 | 正規雇用者(8.4%)、非正規雇用者(10.5%)                           |
|              |       | 週間労働時間  | 副業を持つ者で 48 時間超(3.9%)<br>一つの職種で 48 時間超/週の労働者(5.7%)   |
| Generation Y | 25-39 | 性別      | 女性(62.8%)、男性(35.4%)、性的マイノリティー(1.8%)                 |
|              |       | 学歴      | 修士修了者(14.1%)、学部卒者(54.4%)                            |
|              |       | 婚姻の状況   | 既婚者(37.6%)、独身(58.4%)、未亡人・離婚・別居者(4.1%)               |
|              |       | 職業・雇用形態 | 正規雇用者(63.2%)、非正規雇用者(29.1%)                          |
|              |       | 週間労働時間  | 副業を持つ者で 48 時間超(14.9%)<br>一つの職種で 48 時間超/週の労働者(20.6%) |
| Generation X | 40-55 | 性別      | 女性(67.8%)、男性(31.8%)、性的マイノリティー(0.4%)                 |
|              |       | 学歴      | 修士修了者(17.3%)、学部卒者(32.5%)                            |
|              |       | 婚姻の状況   | 既婚者(66.8%)、独身(18.4%)、未亡人・離婚・別居者(14.71%)             |
|              |       | 職業・雇用形態 | 正規雇用者(45.7%)、非正規雇用者(47.3%)                          |
|              |       | 週間労働時間  | 副業を持つ者で 48 時間超(21.1%)<br>一つの職種で 48 時間超/週の労働者(20.7%) |
| Baby Boomer  | 56-75 | 性別      | 女性(67.4%)、男性(32.5%)、性的マイノリティー(0.1%)                 |
|              |       | 学歴      | 修士修了者(8.1%)、学部卒者(15.1%)                             |
|              |       | 婚姻の状況   | 既婚者(62.9%)、独身(9.2%)、未亡人・離婚・別居者(27.9%)               |
|              |       | 職業・雇用形態 | 正規雇用者(16.1%)、非正規雇用者(58.0%)                          |
|              |       | 週間労働時間  | 副業を持つ者で 48 時間超(13.2%)<br>一つの職種で 48 時間超/週の労働者(19.2%) |

注) 数字の%は各世代内での割合を示す。出所: 図・表 5 と同じ

図・表 7 調査回答者(タイ人・各世代)の特色—2

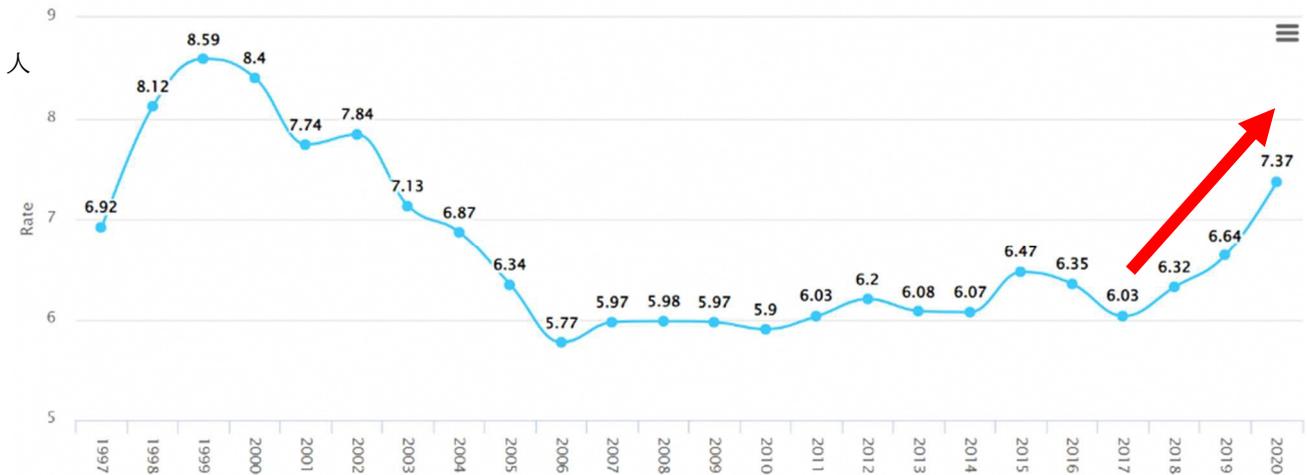
|                       | Baby<br>Boomer<br>(56-75才) | Generation<br>X<br>(40-55才) | Generation<br>Y<br>(25-39才) | Generation<br>Z<br>(18-24才) |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| <b>性別</b>             | 985                        | 1330                        | 1231                        | 334                         |
| 女性                    | 664                        | 902                         | 773                         | 232                         |
| 男性                    | 320                        | 423                         | 436                         | 88                          |
| 性的マイノリティー(LGBTQI等)    | 1                          | 5                           | 22                          | 14                          |
| <b>学歴</b>             | 985                        | 1331                        | 1232                        | 334                         |
| 修士修了者                 | 80                         | 230                         | 174                         | 5                           |
| 学部卒業者                 | 149                        | 432                         | 670                         | 173                         |
| 高等職業校卒業者(短大レベル)       | 41                         | 89                          | 91                          | 12                          |
| 高卒者または職業訓練校卒業者        | 116                        | 202                         | 171                         | 134                         |
| 中卒者                   | 91                         | 126                         | 92                          | 9                           |
| 小学校卒者またはそれ以下          | 508                        | 251                         | 34                          | 1                           |
| <b>婚姻の状況</b>          | 984                        | 1329                        | 1230                        | 334                         |
| 既婚/同居                 | 619                        | 888                         | 462                         | 6                           |
| 独身                    | 91                         | 245                         | 718                         | 327                         |
| 未亡人・離婚・別居者            | 275                        | 196                         | 50                          | 1                           |
| <b>職業・雇用形態</b>        | 985                        | 1330                        | 1232                        | 334                         |
| 正規雇用者(社会保険加入)         | 159                        | 608                         | 779                         | 28                          |
| 非正規雇用者                | 571                        | 629                         | 359                         | 35                          |
| 求職中・失業中の者             | 4                          | 9                           | 23                          | 16                          |
| 求職していない者、その他          | 40                         | 13                          | 15                          | 7                           |
| 学生                    | 2                          | 4                           | 34                          | 247                         |
| 主婦、家事、退職              | 209                        | 67                          | 21                          | 1                           |
| <b>週間労働時間</b>         | 985                        | 1330                        | 1232                        | 334                         |
| 副業を持つ者で 48 時間/週超の労働者  | 130                        | 281                         | 183                         | 13                          |
| 一つの職種で 48 時間/週超の労働者   | 189                        | 275                         | 254                         | 19                          |
| 一つの職種で 35-48 時間/週の労働者 | 243                        | 481                         | 529                         | 42                          |
| 40 時間/週未満の労働者         | 226                        | 219                         | 185                         | 62                          |
| 未就労者                  | 197                        | 73                          | 81                          | 198                         |

数字の単位:人、出所:図・表 5と同じ

❖ 自殺

1) 自殺者(男女総合)

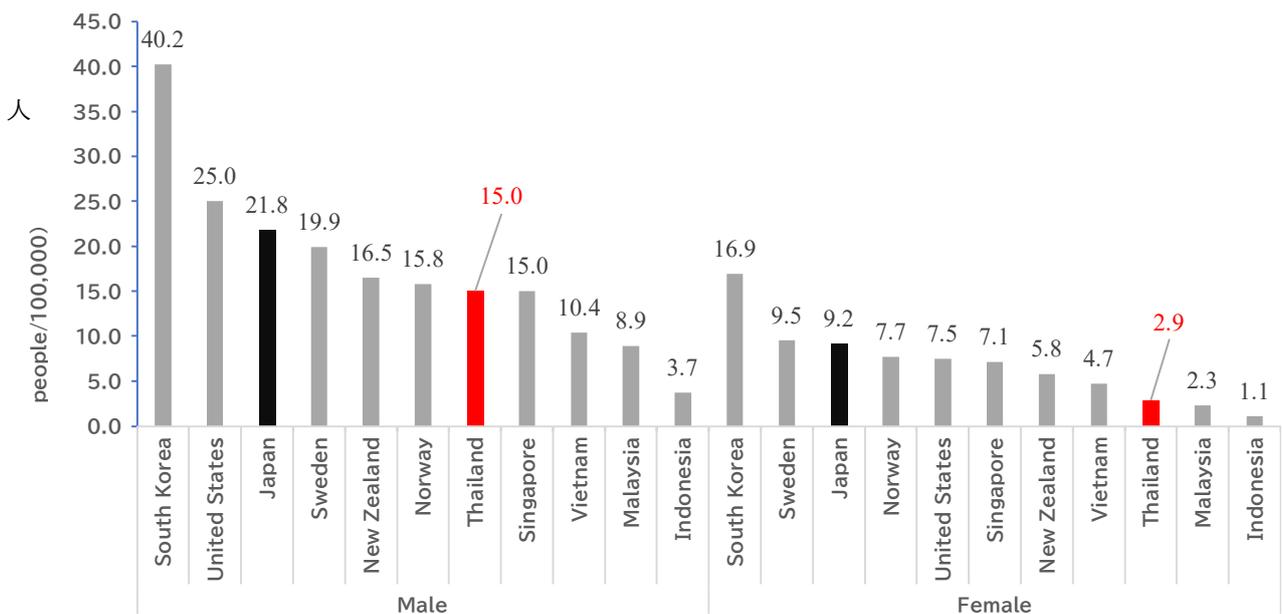
図・表 8に1997年から2020年までのタイ国における人口10万人あたりの自殺者数(男女総合)の推移を示した。コロナ禍においても60%以上の国民(世代)が今の暮らしにそれなりの幸福感を感じているこの国(図・表 5)で、自殺者数が急増している。コロナ禍以前の2017年の6.03人から増加に転じ2020年には7.37人と22.2%の増加(2017年比)を記録した。



図・表 8 人口10万人あたりの自殺者数(男女総合):1997~2020年  
出所:公衆衛生省メンタルヘルス局

2) 主要国との自殺者数(男女別)比較

2019年の10万人あたりの自殺者数(国別、男女別)では、タイ人男性は15.0人でタイ人女性の2.9人と比べて5.2倍だ。また、タイ人男性の15.0人はシンガポールと並びASEAN諸国で最悪だ。

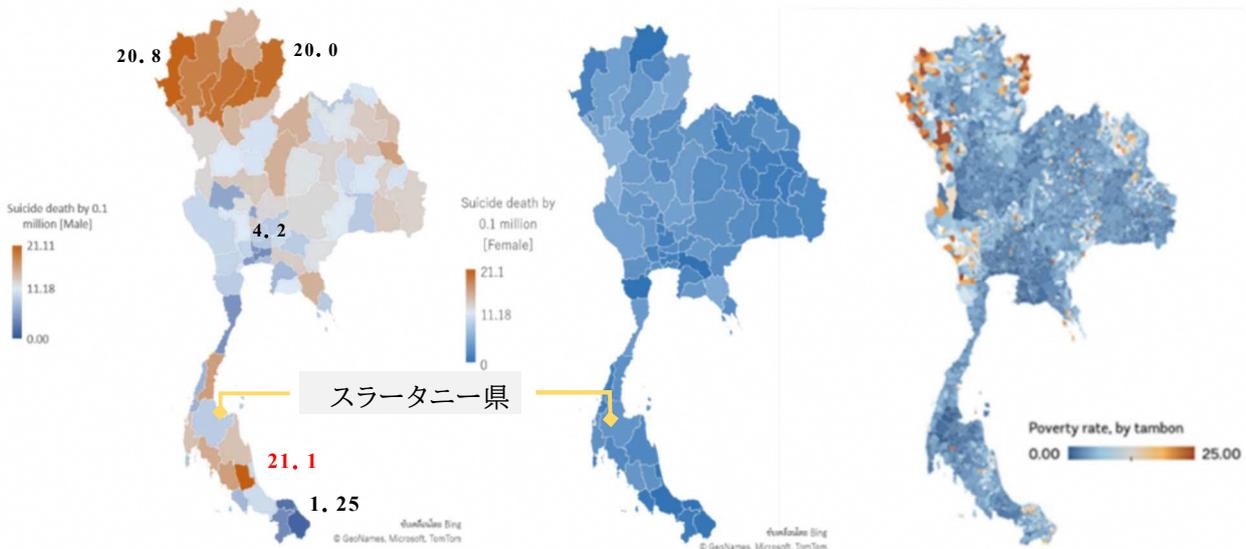


図・表 9 人口10万人あたりの自殺者数(国別、男女別):2019年  
出所:WHOのデータから作成

### 3) 各地の自殺状況

図・表 10 は人口 10 万人あたりの都県別・自殺者数(男女別:最新の 2019 年)を示した。また、図・表 11 はタンボン行政機関<sup>11</sup>ごとの貧困率<sup>12</sup>(2015 年)を示した。濃い茶色の地域ほど自殺者が多く、貧困率も高い。濃紺は自殺者数も貧困率も低い地域だ。

一見して北部各県の男性自殺者数が際立って高い。全国ワースト 2 位の北部・メーホンソン県は 20.8 人で、イスラム教徒が多い深南部・ナラティワット県の 1.25 人と比べて 16.6 倍だ。北部では自殺者数と貧困率とはそれなりの関係がありそうだ。また、大多数のタイ人が信仰する上座部仏教で自殺は自身に更なる災厄を生む恥ずべき罪であるから、幾多の制約を飛び越えてまで自殺に及ぶほどの要因が、特に北部タイ人男性に顕著なのだろう<sup>13</sup>。なお、都市部のバンコク男性は 4.2 人程度と高くないこと、深南部に近いパッタラン県が 21.1 で最悪となったことに関する要因は明らかではない。



図・表 10 人口 10 万人あたりの都県別・自殺者数(左図:男性、右図:女性):2019 年  
出所:公衆衛生省メンタルヘルス局のデータから作成

図・表 11 タンボン行政機関ごとの貧困率:2015 年  
出所:世界銀行



タイ南部・スラータニー県の市場(Sunisa の撮影)

<sup>11</sup> 県(Provinces)はさらに郡(District)、タンボン(Tambon)、村(Village)で構成されている。タンボンは日本にはない行政機関(区分)で、全国に 7,000 以上設置されている。

<sup>12</sup> Taking the pulse of Poverty and Inequality in Thailand, page 9, The World Bank  
[<https://www.worldbank.org/en/news/video/2020/10/22/poverty-and-inequality-in-thailand>]

<sup>13</sup> Manote Lotrakul, Suicide in Thailand during the period 1998–2003。筆者らが調査した限り、自殺の要因を詳細に解析した信頼できる文献はほとんど入手できなかった。また精神疾患に対応する施設やリソースも日本と比べて全国的に少ない気がする。

## ウクライナ危機の影響

### ❖ 投資、貿易、観光全般へのインパクト

ウクライナ危機によるタイ経済へのインパクトについて、Krungsri Research Flush(3月1日付、電子メール配信)<sup>14</sup>の英文を要約すると下記の通り。



タイ北東地方の寺院

タイからロシアおよびウクライナへの2021年・輸出総額はそれぞれ10.28億ドル(1,184億円)および1.34億ドル(154億円)でタイ国総輸出額の0.38%および0.05%程度である。また、ロシアからの直接投資額は4.62億ドル(531億円)で総投資額のわずか0.17%に過ぎない。また最悪のケースとして本年、タイからロシアおよびウクライナへの輸出がゼロになったとしても、貿易総額350億バーツ(1,233億円)の減少でGDPの0.2%程度、旅行業界では359億バーツ(1,265億円)の落ち込みでGDPの0.2%を毀損する程度。従ってウクライナ危機に伴うタイとロシア・ウクライナ間に限った輸出および直接投資への影響は限定的だ。

ところが、民間航空機がロシア領空を回避してタイに向かう場合、場合によっては所要時間が一、二時間伸びることになり、政府として2022年に受け入れたい1,000万人<sup>15</sup>の旅行客が400万人にまで激減するとの予測もある。予断を許さない状況だ。

### ❖ 世界的な肥料逼迫の恐れとタイ農業



田んぼの中のレストラン

Bangkok Post 電子版(3月14日)によれば、タイの肥料需要は年間で500万トン。ただしタイ国内で製造できるのはその8%(40万トン)に過ぎない。そこでタイは年間約500万トンの化学肥料を中東、ベラルーシ、ロシア<sup>16</sup>、カナダ、中国および欧州から輸入している。しかも10%(50万トン)はウクライナの港を経由したロシア製肥料だ。今後、タイ政府には肥料逼迫への対応が迫られている。

### ❖ ウクライナ危機に対するタイ(社会)の受け止め方

筆者らが確認した限り、ウクライナ危機に対するタイ政府のポジションは中立的だ。植民地化を回避するため永年培ってきた独特な政治的バランス感覚だろうか。現政権の出自も中立的な立場をとる要因の一つかも知れない。また通常、タイ政府を攻撃する電子メディア<sup>17</sup>も今回のウクライナ危機に対してやや冷めた論調を展開していた。すなわち、『ロシア政府を非難する多くの国々(や人権団体)は、西側諸国等がアフガニスタン、イラクに侵攻した先例とどこが異なるのか、どの口が言うのか、ダブルスタンダードではないか。』だ。

ところで、3月7日時点でプーケットやサムイ島、パタヤなどの観光地に足止めされているウクライナ危機当事国からの旅行者約7,000人(ロシア人が90%以上)には、サポートセンターの設置、暗号通貨や中国のUnionPayでの支払を可能にするための協議が進められている<sup>18</sup>。

<sup>14</sup> Thai economy improves from Omicron impact but Russia-Ukraine crisis becomes a new unknown, raising inflation and creating risk to the economy, Krungsri ニュースフラッシュ 2022年3月1日

<sup>15</sup> タイにおける現地情報(2022年2月14日付),page11

<sup>16</sup> ロシアは世界一の化学肥料製造、輸出国

<sup>17</sup> Opinion: People upset about western double standards over imperialism and the invasion of Ukraine are wrong, The Inquiry[<https://www.thaienquirer.com/38195/opinion-people-upset-about-western-double-standards-over-imperialism-and-the-invasion-of-ukraine-are-wrong/>]

<sup>18</sup> <https://www.nationthailand.com/in-focus/40013154>

バンコク点描



ボートで通勤通学



キュウリと生海老のタイ・サラダ  
(タムテークンソット)



タイ飯との奮闘開始



ソムタム(タイ・サラダ)作り



惣菜屋



春雨温サラダ作り

コロナ禍以前に撮影、3月に撮影